いわき民報
發行所 平市田町48 電381 176 1222 いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

學校新聞 PTA新聞 機關紙
新聞印刷専門の本社印刷部を御利用下さい
いわき民報社 電一二二二

魚の養殖を強力に推進 零細漁民を救う 縣水試 月末から對策

魚の亂獲對策として養殖事業を強力に推進しようと縣水産試驗場では今月下旬ごろから新たに養殖係をもうけることになり近く人事の發令がある

最近の海岸線一帶を見ると海藻が殆んどないため貝類も急激に減りまたこれに伴って小魚類も少くなり殊に工場の排水が影響してか泉、植田、勿來方面の零細漁民は死活問題だと困り切っておりこのまま放ってはおけないので縣水試で乘出すことになったもの

養殖部が出來ると約十年ぶりに岩面掃破機を使用し磯のお掃除をして海藻の附着を容易にしまた築磯を海中に投下して小魚の巣を興える一方貝類の增殖を圖ってアワビ、カイヤキ、ワカメ、磯魚等の增殖を圖るようになると水産試驗場では張切っている

勞災保險經濟危機へ 打開に滯納を整理

九月一日から一ヵ月間保險經濟安定運動が全國的に展開されているが、平勞基署管内における廿五年四月から七月迄の勞災保險の調定額は一億一千百万円で縣内總調定額一億五千万円の大半を占めている狀態であるが、この納付實績は九千万円で滯納額が二千二百万円にのぼっている、これに對して保險給付高は同期間内で四千二百八十一万円、八月分の千六百六十五万八千円の合計五千九百四十六万八千円で、この外未審査により千五百万円分は未拂いになっており、保險經濟の均衡を保持する納入當百に對し支出六十の線をオーバーして當地方は大きく保險經濟の危機に遭遇している現狀にあるので、平勞基署では本期間中は各事業場を巡視、滯納の督促と共に概算保險料の申告が正當なものであるかどうか徹底的な調査を行うことになった

勞災保險料の料率は各事業場の給與事情と共に異っており最近は一般的な經營不振の爲に概算保險料は少なく見積って年度末で清算しようとする不正な態度が顯著になって來ていることと賃金未拂の續出から勞災保險料金の支出までに手が出ないというのが大きな原因となっている、なお二千二百万円の滯納額に對する事業場は二百七十にのぼり近く滯納處分も實施する手ハズになっている

皇居清掃へ 八日出發

石城郡内各町村民生委員並に有志約五十名は八日午前十一時十二分發上りで四泊五日の豫定で皇居清掃奉仕の爲出發する

連日百五十名が就勞 競輪場の建設工事急ぐ

平市競輪場の建設工事は一日から本格的に開始され第一期工事として十月一杯までに整地工事を完了する爲連日百五十名の勞働者が谷川瀬地内の山地から切崩した岩石の運搬埋立てに大童―同工事についてはすでに市會の承認により請負者側に工事前渡金として三百万円が支拂いされ契約書には本年の十二月二十日迄に完成すること但し十一月二十五日迄に第一回の競輪が開催出來る狀況に至れば賃金百万円を贈るとなっており、契約の十二月二十日迄完成しない場合は請負者は百万円を市側に出さねばならないことになっている、なお四日自轉車競技法第一條第一項により競輪場施設として指定する旨地方財政委員會財政部長から一日付で縣地方課に連絡あり市では競輪場が設置出來れば正式にいつでも開催できるわけ

社會黨案に落着く 内鄕町税條例可決

内鄕町會は四日流會引續き五日午前九時から開催され懸案の税率役場側百分の十八、穏健派百分の十四、社會黨系百分の十三、共産黨系百分の十一でしのぎを削り紛爭を重ねたが、結局すったもんだの末社會黨系の提案百分の十三に凱歌が揚り午後八時散會、去月二十四日以來抗爭を續けて來た難航の町税條例問題に終止符を打った

リヤカー盜難

小名濱町大字大原字内城農箱崎良夫さん方では四日夜から五日朝にかけて物置小屋においたリヤカー一台(一万円相當)を盜まれた

四小PTA會

平第四小學校PTA會では七日午後一時から研究會を開催並に運動會實施方案に就いて協議する

平職安所植田分室 十五日から業務開始

去る七月十日着工した平職安所植田分室は愈々十日に竣工する事となり十五日から分室主任小松四郎氏等八名の所員を配置して舊宮久田方部附近の十ヵ町村の勞働失業對策事業、調査等の一般業務關係の事務を行う事と決定した

唐ミギ泥に三月

住所不定無職前科一犯小高賢助(二二)にかかる窃盜事件は五日平簡裁で吉井判事から懲役三ヵ月を言渡された、小高は吉田某(一六)の少年と共謀で平市大字鎌田字小山農平田八十治方前の畑から唐もろこし四十二本(時價一百円相當)をぬすんだもの

平照明普及會を結成 十二日笠原氏を招き講習會

五日午後一時より東北配電會議室で平商業研究會々長佐々木俊男氏外十名、東北配電業務係長松田英雄氏等十二名が集まり平市内の街路、商店、屋内廣告其の他照明の普及向上及能率化を計るのを目的として平商工會議所後援で平照明普及會を結成會長に諸橋久太郎氏を副會長には佐々木俊男を推し同日午後五時公會堂日本間で佐々木副會長ら六名が集まり種々協議の結果十二日の午後一時より東芝の照明課の笠原氏を講師として招聘公會堂日本間で第一回の照明講習會を開く同日夕刻に武田瀬戸物店、みどり屋肉店、山家洋品店、なかや洋品店、吉田パン店、富永ラジオ店、入百富商店、藤越、ブラジルの九軒を代表的な照明商店として照明を設置する事を内定、目下交渉中、又本月末日頃市内の照明コンクールを行う豫定

釋放の夜に盜みを働く 女白浪湯本署へ

湯本町署では五日磐崎村藤原生れ住居不定高木靜江(二〇)を窃盜の疑で捕えた

高木は去月上旬ころ郡會にあこがれ家出したが舞い戻り、平、植田、湯本界隈を徘徊していたがその間窃盜詐欺罪を數件犯し湯本町署に捕まり卅一日釋放されたのだが、同夜八時ころ同町三函温泉神社から神具布製壁代四本八千円、ひざつき二ヶ四百円を盜み、更に同夜九時ころ同町湯本町幼稚園に男と逢引のため便所から侵入泊り込んだ擧句高木禮子さん所有の女物タオル石鹸入等二點三百三十円相當をまた一日夜九時ころ再び同所に男と密會泊り込み事務室の戸棚からワンピース其他五點二千七百円相當を盜んだことが判明した

六名で毆る 二名を逮捕

好間村大字上好間字南町田運搬夫鴨原勇(二〇)同村大字北好間字彌一郎自動車運轉手鈴木信吾(二一)は五日午前三時三十分頃暴行容疑で平地區署員に逮捕された、兩名は外四名と共謀で同村上好間字小舘古河炭鑛探炭夫安田清三(二五)に對して七月十一日午後十一時頃同村字馬場の好間村第一小學校裏で毆打し全治三週間の傷害を加えたもので、共謀者四名及び原因は平地區署で目下捜査中

共謀で盜む 一名を逮捕

湯本町淺貝土工遠藤嘉一(二三)は去る十四年十月十三日午後七時半ころ沼田、廣野中澤某と四人共謀で同町水ノ谷字龍ヶ澤土工渡邊彌十郎さん方の留守宅に侵入、懷中時計一コ其の他二万四千九百円相當を盜み逃走中だったが五日同町淺貝江原郡明さん方に立寄ったところを湯本町署員に捕まった

十七俵押收 列車を臨檢

五日午後十一時半平着の青森發上野行上り二二〇八列車に平地區署員四名が原町(午後九時半發)より同乘し車內の臨檢を行なった所無主物二十七個(米一六俵、大豆一俵)を押收した

高木次官 九日來平

先に市では平驛の擴張を計る爲平驛から城山の鐵道官舎附近に跨線橋を設けたいと山崎運輸大臣宛陳情中であったが九日衆議院法務政務次官高木松吉氏が午前九時四十五分平着列車で來平、平驛並に市當局と同跨線橋の設置事情の懇談と磐越線の客車が非常にきたないとの非難があるのでその視察を行う旨この程平驛に連絡があった

淺沼書記長ら來平 今夕公會堂で演説會

社會黨淺沼書記長、縣連合會々長佐伯健次並に茨城縣連石川會長らは六日午後三時十五分着列車で來平、松井代議士田畑縣議ら一行と午後六時から市公會堂に平和問題を中心に大演説會を開くが終って黨員との懇談會を開き明七日歸京する

自轉車泥捕まる

小名濱町花畑佐藤洋服店方職人佐藤次男(一七)は四日午後二時ごろ同町役場前に置いてあった町議小野直千哉氏の新品自轉車(一万五千円相當)を搔拂い大膽にもその自轉車に乘って實家の茨城縣に向う途中、夕刻ごろ同縣大津町で同町署に御用となった

傳染病

湯本町水ノ谷龍ヶ澤須藤征さん四男文夫(二ツ)ちゃんは五日赤痢の疑で隔離された

自轉車盜まる

好間村大字下好間字平倉五鍛冶職根本邦秀(二〇)は二日夜平市鎌田町小野賢一方庭內に置いた中古自轉車一台(時價七千円相當)を窃取された

溜池に轉落 安男君溺死

五日午後四時頃四倉町字赤津農松崎シツヨさん二男安男(九つ)ちゃんは自宅附近の溜池にあやまって轉落溺死した

添田所長嚴父

縣教育委員會添田平出張所長の父重松氏は四日逝去した實家は石川郡中谷村大字形見

天氣予報 六日

【今晩】北東の風曇天一時俄雨

【明日】朝夕北東の風涼しく曇勝ち、日中一時南よりの風晴間も出る、海上は大体おだやか今晩頃ｨ連續線の通過により一時風波が高くなることがあるから小型船舶は御注意

上棟式擧行 平商增築工事

平商高第五期增築工事は請負者磐城土建で鋭意進行中であったが昨五日午後五時より工事現場で上棟式を行った

空巣に入らる

湯本町山の神無職平子さだ(二八)さん方では四日夜八時

店舗 居抜きのまゝ讓度
場所 三丁目南部 間口二間 奥行二間 水道瓦斯の設備あり 價格は面接の上御相談に應じます
電話九一五番へ

讀書の秋に最大の賜りもの
隨筆 宮本武藏 吉川英治著
巌流島から晩年の武藏 お通や澤庵は?
【日本週報】一五九〇號發賣中
平市銀座 電一〇四番 石川書店

求人
一、職種 旅館雜務
一、年令 四〇才以上 健康な男子
一、市內に確實なる保證人を要す
一、住込可能の獨身者
一、給料其の他は委細面談
姓名在社

公賣公告

一、公賣物件の表示
一、印刷機 (1)四六四截 平市中町 大和田與兵衛 壹台
(2)菊八頁 壹台
(3)菊四頁 壹台
(4)動力掛ミノ全版手フート 壹台
(5)斷截機(動力) 平市南町 西山格之助 壹台
一、酸素熔接機 壹台
一、背廣三ツ揃(冬物) 貳着
一、モーニング 壹着
一、オーヴァー 壹着
一、リヤカー 壹台
一、電氣ドリル 五台
一、木材檜板 十尺 十三尺 拾參枚
一、杉材四寸角 參拾五本
一、檜材五寸角 五本
一、材料一〇尺 二寸板 七枚
一、同一〇尺 三寸 五寸 檜板 八枚
一、角材二寸 四寸 八本
一、同二寸角檜材 五本
一、簞笥 櫻製 貳掉
平市古鍛冶町 渡邊清二
一、シンガーミシン 參台
平市新川町 早坂勇次郎
一、自轉車 貳台
平市大町 佐々木茂樹
一、貨物自動車 壹台
平市新川町 鈴木專一
一、シンガーミシン 壹台
平市月見町 佐藤芳身
一、自轉車 參台
平市三丁目 江尻直次
一、シンガーミシン 貳台
一、國産ミシン 壹台
平市三丁目 岡時保
一、冷藏庫 壹基
一、ラジオ(七球) 壹台

右は國税滯納につき前記財産を競賣に付するのであるが希望者は現品をよく御覧になって次の事項並に競賣人心得書承知の上競落せられたい
一、競賣期日 九月十二日午前十時より
一、場所 平市大町平市役所倉庫前(若松醫院側)
一、代金 卽納のこと
右公告する
昭和二十五年八月三十一日 平税務署

大講演會

元日本初空襲ドウリットル爆撃隊員 今は愛の敎徒となれる ヤコブ・デ・シェーザー師
題『私はもと日本の捕虜でした』
とき 九月七日 午後七時半
ところ 平市公會堂
主催 フリー・メソジスト敎會 いわき福音敎會

産婦人科 入院隨意
五十嵐雄二
平市新川町電三六九 五十嵐醫院

科學隨想（上）

人類の出現と鑛物資源

柳澤一郎

現代人を學名で〃ホモ・サピエンス〃と呼んでる。此の意味は〃理性の人〃知識人である此の〃知識人〃が我々の學名であつて、有色人種も、白色人種も皆同一なのである所が此の理性の人なる者は如何なる歴史的過程において、どの樣な變化をなしつつ今日のような狀態になつたかを我々は皆興味を持つて考えている。最近各所において古墳の發掘などが行われ、我々祖先のその當時の生活狀態、及文化程度、その歴史的意義などを研究し考古學に對し關心が拂われている事は全く喜ばしいことである。

此れから筆者は人文學方面からではなく一地學徒として淺學も顧みず此の〃ホモ・サピエンス〃の由來と人類と鑛物資源と云うものについて少しばかり知り得た事をお話しして見たいと思う。

昔外國において人類と云うものは系統的に進化發展したものではない、つまりそれとは無關係に生成したものであると考えられていた時代があつた所が世界的有名な彼の『ダーウキン』や『ラマルク』と云う學者が出て生物の進化論を說いてから此の『理性の人』とてもやはり動物界の一員であり、ほ乳動物の一種として、長い間自然の陶汰を受けつつ現狀に到達したものであると云う事が判つて來たのである。地質の時代で一番新しい新生代と云う時代はほ乳類が非常に多く生存しておつたため此の時代を一名ほ乳類時代ー(マンマル・エージ)と呼んでいる。所で人類は分類上はほ乳類、靈長目、人科に屬するものであるが、その形態上習癖上その他において我々と密接な關係を有するものは類人猿である。

此のほ乳類が新生代と云う時代に初めて地上に姿を現わしたのだが、此の一番新しい新生代が今から數百万年後と言われている。我々の人類文化史で云う上古代、中古代、近古代、近世代と其れとは到底問題にならない程、時代の差つまり時間的飛躍がある。

一例を上げるなら吾々の人類史で約2000年、前とか3000年前とか云うのは地質時代の新世代の中で最も新しい世紀即ち現世に屬するものなのである。

さて前に戾つて、類人猿と人類との關係であるが、これはその發達過程を一本の幹と考えると、新生代のある時期には一本の幹だつたものが、長い年月を經て二本に分化し人類と類人猿になつたものと云われている。

つまり或る時期までは同一過程で進化し來つたものが長い年月の内に二本に分れ夫々進化發展して一方は人類となり他方は類人猿になつたと考えられている。

生物學の大島博士に依れば靈長目(類)が此の地球上にその姿を現わしたのは新生代第三紀の初期ころと云われ、その後永い間經てから(第三紀の新期)人類と類人猿とが相分れて各々進むべき道に向つて發展したものであると述べられている。即ち類人猿の方から讀者御承知の『ゴリラ』とか『チンパンジー』とかが現われ後者の人類科から種々樣々の發達を示した人類が現出したと云われている。先ず原始人類に就いては今日一番古く考えられているのは〃ジャワ島〃から發掘されたもので人か猿かと疑うもので、此れは〃直立猿人〃と云われている。時代は新生代第三紀の終りか第四紀の初めと考えられ今から50万年前後と推定されている。

就勞ワク二千名台に

三・四半期 失業對策事業で協議

五日午後一時から平市役所會議室で平職安所管內の失業對策事業に就いて職安所長、土木監督所長、戰災復興事務所長、平、內郷、湯本、好間、赤井、勿來、山田の各市町村關係者等が集まり第三・四半期の失業對策の實施と現在の平管內のワクが一日千六百三十名であるが登錄者數が二千七百名であつてアブレが非常に多くなるので今後のワクを二千名台の線で斡旋方法をとりたいという事を決議午後四時半散會の後六日佐藤平職安所長より縣に書類を申請陳情した

廿名募集のところへ 四百名押掛る豫想

小名濱八日から失業者登錄

小名濱町では縣下のトップを切つて簡易失業救濟事業を實施することになつたので八日午前九時から正午まで日雇勞務者の登錄受付けを行う、この失業救濟事業は縣二十万円町二十万円計四十万円を以つて第二中學校々庭の整地事業又は小名川改修工事の何れかを實施するもので一日の就勞人員は二十名、町當局ではこれに對し四百名近い登錄者が出るのではないかと心配している、就勞希望者が殺到した場合は輪番制又は就勞ワクの增大を縣に陳情することになつている

施工個所は前記の通り第二中學校々庭の整地事業又は小名川改修事業のうちから選定されるが僅か四十万円の工費では小名川改修のように徹底的な施行を望まれている場所には『燒石に水』であり假に實施しても一度大水があればまた河川が埋つて仕舞うだろうと云う意見と差當つて四十万円で一部の改修を行い續いて本格的な工事に移れとする意見がこの前の町會に論議され途に施行個所の決定に至らずにいるもので關係者の注目を惹いている

差押え物件 引揚げ通知

平稅務署では第一回の滯納差押え物件を廿日迄に引揚げる爲、目下その通知書を作成中で主に湯本、植田、小名濱を對象にしているが、これらの物件の競賣は二十六日から三日間と豫定されている、なお第一回の競賣は十二日實施することになつているが競賣公示以來納稅するのがボツボツ見え始めている

差押品公賣 來る十二日

平勞基署では昭和二十三、四兩年度分の勞災保險料金の滯納差押物件九、事業場分の二十六點トラック、誘導電動機ワイヤロープ、レール、モーターポンプ等を十二日午前十時から同署前で第一回の公賣を開く

中の作支部 役員を改選

江名漁業協同組合中の作支部ではこの程役員改選を行つた結果次の如く吉田義氏が支部長に就任した

△支部長理事 吉田義△出荷部長理事 吉田喜好△理事 吉田金司、高橋源太郎、坂部武男、吉田政平△監事 松本茂、田村雄次

飯豊登山決行

平山岳會の夏山最終行事

平山岳會は今夏山最終の行事として第三回福島縣總合体育大會登山部門による飯豊山行に參加することゝなつた、目的は參加者に登山意識として山の深さ嚴さを味わしめ隊の纏り(リーダーシップ、メンバーシップ)裝備を指導し、將來に役立たしめるものである、尙日程は九月十五日午後一時山都驛前にて開會式、同十六日午前三時川入出發登山九月十七日德澤驛午前十一時四十九分發上り列車に乘車散會となつている、詳細なコース、裝備、食料、費用その他については同會に問合せられたい、參加資格者は一般、高校以上の學生で多數の參加を希望している、申し込みは會長渡邊久氏又は交通公社內同會事務局で受付る

日程

九月十五日午後一時山都驛前にて開會式、右時間迄に參集

九月十六日午前三時川入出發登山

九月十七日德澤驛午前十一時四九分發上り列車に乘車散會

コース

山都町—一ノ木—川入(泊)川入—地藏山—三國岳—飯豊山—三國岳—彌平四郎(泊)彌平四郎—德澤驛

裝備

雨具、シャツの着換、軍手水筒、防寒具(セーター又は冬シャツ)地圖(隨意)靴、地下タビ、わらじの適當なもの、電灯(豫備電球)(午前三時出發故各自)

◎各團リーダーはかならず白生地に黑字の團体名を書いたる腕章を左腕につける(リーダーは團体責任者にして飯豊山を知らずも支障なし右腕章は各團隊にて持參して來べし)

食料

米一人一升五合、副食少々

費用

山都驛迄及び德澤驛よりの乘車賃山都—一ノ木間バス彌平四郎—德澤間トラック計九〇円—川入及彌平四郎宿料各一人一〇〇円(但し味ソ汁付)

文藝紙文化ウイクリー發刊

週刊文藝紙『文化ウイクリー』が三日付で創刊號を出したタブロイド版で眞尾倍弘君ら同志十八名が結集毎週日曜日に出すことになつている、一部五円

僻地研究會 十七日役員會

この程新發足した山村僻地研究會(會長小野若松氏)では十七日午前九時から平一中に初の役員會を開き年度計畫兒童生徒の敎育振興、敎職員の現職敎養、地域社會との連絡啓蒙、僻地敎育振興會との連繫等の諸問題に就き打合せる

小形君出場 東口杯爭奪戰

三日磐女グランドで擧行された第四回縣選脊陸上競技大會兼東口杯豫選は大會終了後詮考會を開き、結果二十三日高知市で擧行される東口杯爭奪戰に縣代表選手七名(女子一名)を詮考したが石城郡から小形淸美君內郷が千五百米に出場する

職場野球 八日自治勞組

湯本町自治勞働組合では組合員の親善協力を企圖して來る八日午後四時から湯本中學校グランドで職場對抗野球大會を開催、校庭チーム、小野田チーム、砂防、河川、淺貝混成チームの三チームに分れ和樂の午後を過すことになり町民の聲援を期待している

常磐敗け 對中大野球戰 10—5

常磐炭鑛對中央大學第一回野球戰は五日午後四時から湯本町湯貝常磐球場で擧行、打擊戰に終始したが中央よくタイムリをものにし十對五で樂勝した

バッテリー、中大、永山—金田、淸水、常磐沼田、鈴木—衛藤

なお六日午後四時から內郷町金坂球場で第二回戰を行う

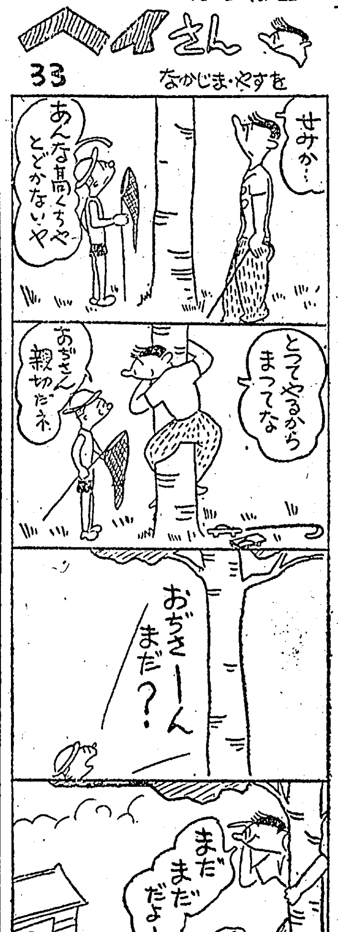
灰皿

平石炭事務所は石炭局當時から麻雀が盛んであるが、ついこの前局長室と總務課の置時計が盜難にあつてから『麻雀の遊戲は午後九時以後まかりならん』とのきびしい官託があり常連一同ふさぎ込んでいるが、これだけならまだよく、飮酒泥醉し又は放歌高ギンを愼む事廳舍內外の巡視、戶締の點檢を隨時行うこと等の服務規律が出てのんびり麻雀も出來なくなりにがりきつている

いわき俳壇

江名海月吟社（クラゲ）　君仙子

割西瓜先づ涼しさや身にせまり　弘平
スクリンの流れに汗を忘れけり　一文字
西瓜食ふ子供の片手テーブルへ　林太郎
しう雨ありせいくとして風又過る　かつし
海水着見るまに虹にそまりけり　秀男
汗かきつ休む日蔭や葛垂るゝ　秋女
夕立晴友の端居の客となる　星城
切板を越えてはじける西瓜種　なぎさ
獨り居の母は靜かに蚊帳つれり　水石
二の腕で汗拭きラムネ一飮す　小城
炎天に汗ぬぐ影やせみの聲　たん水
夕日照り漁夫今日もと油汗　八爵女
引越して西瓜割つたる青簾　一舟
やぶの中一つ咲いたる百合の花　和祥
散る花火えんにねてみる祭夜　黍子
よく入いる風の座しきの捨てうちわ　まり子
水飯をたのしんで居るほどの貧　一突
夏の日や暮れ殘りたる白き的　甲
望顏や鷄舍に窗の低く垂れ　海風
冷奴酌する妻のたまさかに　石城
汗輕く來て消蟬もきかれけり
しけの柿落ちつぐ音や蚊帳の閨



ラジオ

JOCP ラジオ JOHQ 【7日】 ローカル 郡山放送

前10・20 夏休みラジオクラブ 須賀川一中生徒

後5・30 平若松通信第四十七報 金子公

秋の替ズボン
初秋の御召替ズボン豐富取揃えました
(大)ふかや

流行の尖端をゆく…靴は
專門店 菊一へ
平三 電446

(入院隨意)
產科 婦人科
中田醫院
中田三郎
平市材木町二四(聚樂館附近)
電話一〇九七番

處方調劑 下痢一般
平五 平藥局

眼科
募集 女中さん
18才前後の方
安田醫院
平市紺屋町 電1225
【移轉】平文化斜向側

平市五丁目
(久) 釜屋商店
電九・九九・九九九

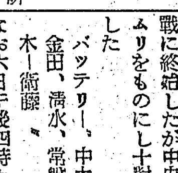
精工舍の時計
平一 トキワヤ時計店

包裝紙ポスターはオフセット印刷で…
平市二丁目 電三〇二番
平活版所

眼科
松崎醫院
內郷第二イワキ隣
電話(綴)二二番

きゝめで評判の『虫下し』!!
月に一回忘れずに必ず實行してこそご安心!
平市聚樂館前
藥は淸新 調劑は正しい
武田藥局
藥劑師 武田三郎

冷たいビール
スタンド(かよ) オグラ
平市田町福壽軒隣


最高特級品
ブラザー
チューキ
パイン
アサヒ
カタログ進呈
平市二丁目
電二三二
石川ミシン商會